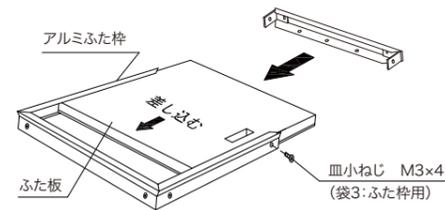
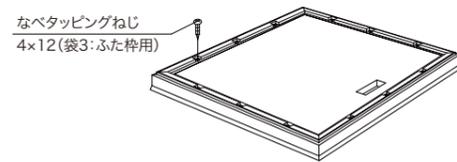


施工方法

③ アルミふた枠の1辺が外れるようになっていきますので、②のふた板を差し込みます。その後、取り外したアルミふた枠を側面より2箇所ほどで固定してください。



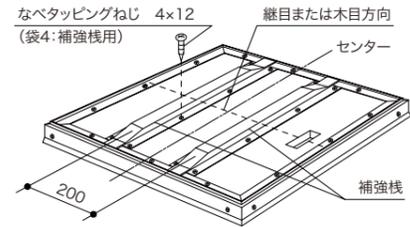
④ アルミふた枠とふた板を、ふた板裏面よりねじで固定してください。(12箇所)



⑤ 補強棧をふた板裏面に固定します。

❗お願い

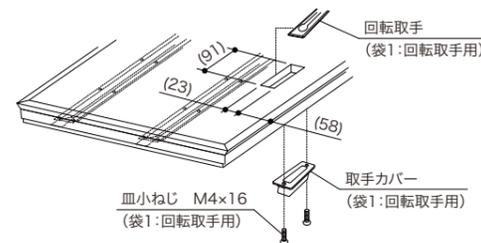
ふた板に継目がある場合は、継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。



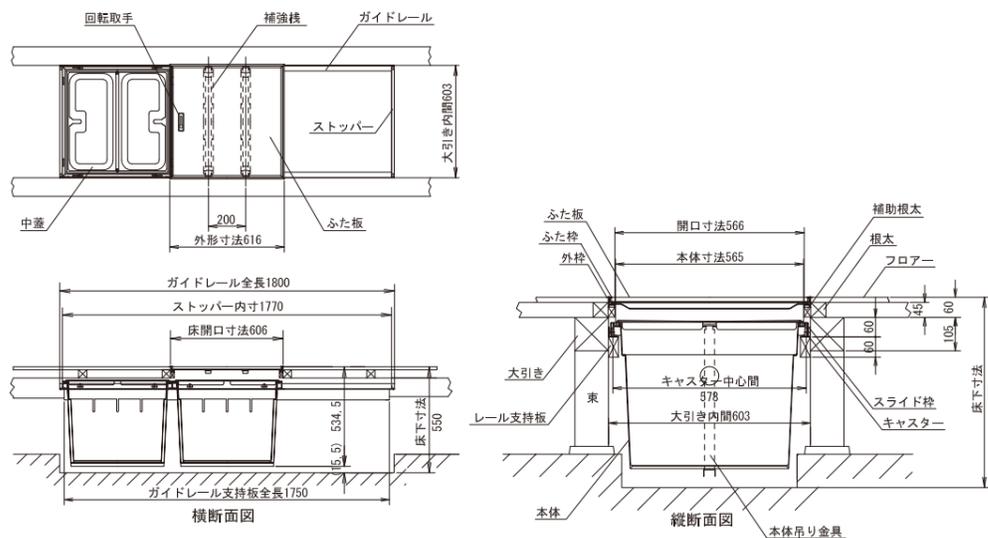
⑥ 回転取手を取り付けます。

❗お願い

手回しドライバーで固定してください。



製品寸法図および取付図



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。



URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>



URL <https://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

●商品改良のため、記載内容については予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●無断転載を禁じます。

13式施-床6SLB(S)DJ-2型

施工マニュアル

●施工後、本施工マニュアル及び同梱の取扱説明書はお客様にお渡しください。

施工業者様用

床下収納ユニット スライドタイプ 600型(深型)

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例



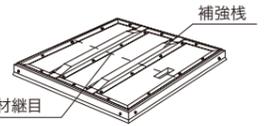
●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

取付けの前に

⚠警告

❗必ず実行

補強棧はふた板の木目に直角に取り付けてください。また、ふた板の床仕上材に継目がある場合には、木目の方向に関係なく継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。ふた板の強度が不足すると、開口部に転落してケガをするおそれがあります。



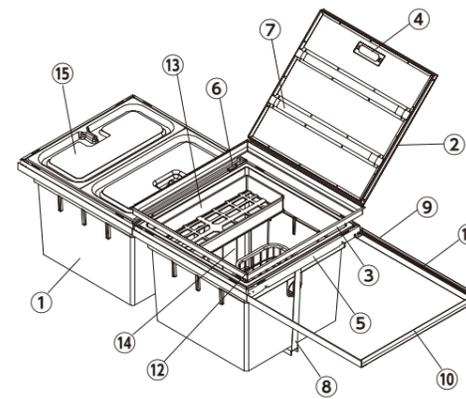
⚠注意

❗お願い

本体は樹脂製ですので、火気の使用や溶剤に注意してください。



各部の名称



各タイプの部品構成

部品番号	部品名称	数量
①	本体	2
②	アルミふた枠	1
③	アルミ外枠	1
④	回転取手・取手カバー	1セット
⑤	スライド枠	2
⑥	連結金具	2
⑦	補強棧	2
⑧	本体吊金具430	2
⑨	ガイドレール	1セット
⑩	ストッパー	1セット
⑪	すべり止め(スペーゼ)	2
⑫	網カゴ	2
⑬	皿カゴ	2
⑭	仕切板	2
⑮	中ふた	2
⑯	緩衝シール ※1	2

付属部品

袋番号	部品名称	数量
袋1	回転取手用 皿小ねじ M4x16	2
袋2	外枠用 皿タッピングねじ 4x30	8
袋3	ふた枠用 皿小ねじ M3x4	2
	皿ベタタッピングねじ 4x12	12
袋4	補強棧用 皿ベタタッピングねじ 4x12	16
袋5	ガイドレール用 皿木ねじ 3.8x20	18
袋6	ストッパー用 皿小ねじ 4x12	8
	六角ナット M4(1種)	8
	平ワッシャー 4	8

※1 スライド枠に貼付け済みです。

施工方法

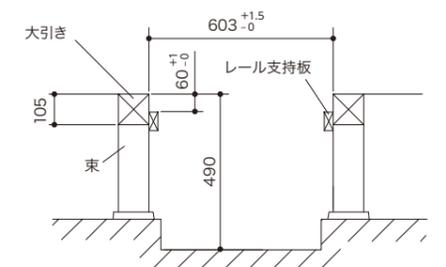
1 大引きの新設とレール支持板の取り付け

① 全長約2000mmの大引きを、開口部中心に合わせて設置します。大引き上面までは490mm以上必要なため、束を立てて十分な補強をしてください。

※大引きは90角~105角サイズのものを使用してください。

② 設置した大引きにレール支持板30x60x1750mm(現場調達)を取り付けます。中心位置にスミ打ちし、床開口部の中心と合わせます。レール支持板の高さは、大引き天面より60^{+1.5}mmの位置に取り付けてください。

※レール支持板は反りや曲がりのない真っすぐなものを使用し、水平を確保してください。



施工方法

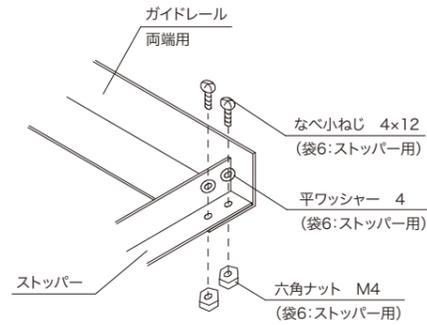
2 ガイドレールの取り付け

- ① ガイドレール両端用とストッパー用部材を、付属のねじとナットで組み立ててください。

⚠ 注意

❗ お願い

ねじはしっかりと締めてください。
しっかり締められていないと使用中にレールが外れ、本体破損の原因となります。

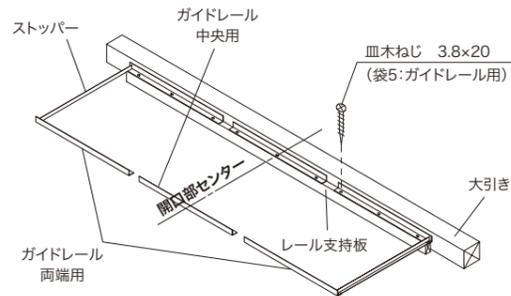


- ② ガイドレール中央用のセンター位置を床開口部の中心位置に合わせて、付属のねじで固定してください。(ねじ穴の中央がセンター位置です。) このとき、ガイドレールの四隅の直角と、間隔の平行を確認してください。

⚠ 注意

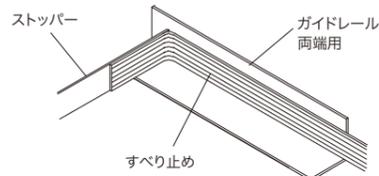
❗ お願い

ガイドレールの直角と平行は必ず確認してください。
直角・平行が出ていないと動きが悪くなり、破損の原因となります。

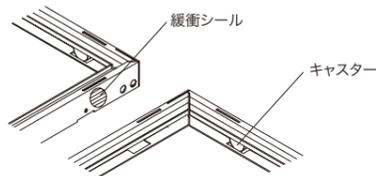


3 スライド枠の組み立て

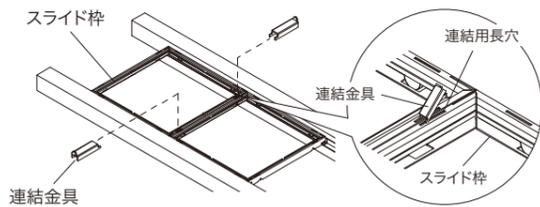
- ① すべり止め(スペラーゼ)の両端を、ストッパー側へ巻き込んで貼り付けます。



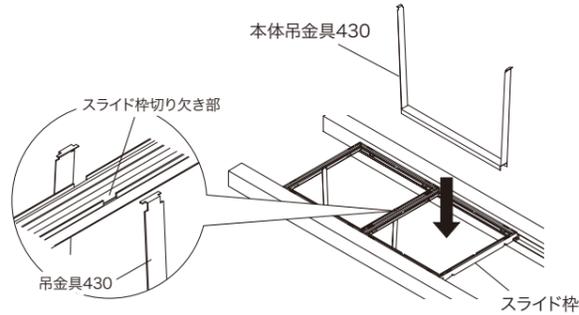
- ② スライド枠のキャスター取付側が、ガイドレールと平行になるようにセットしてください。このとき、必ず緩衝シールの貼ってある面を合わせてください。



- ③ 連結金具をスライド枠の連結用長穴2カ所に挿入してください。

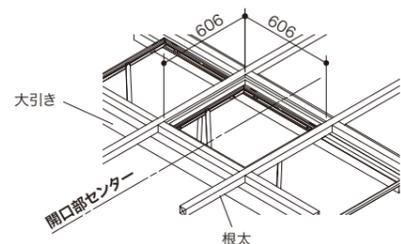


- ④ 本体吊金具をスライド枠中央の切り欠き部分に引っ掛けてください。



4 床組み

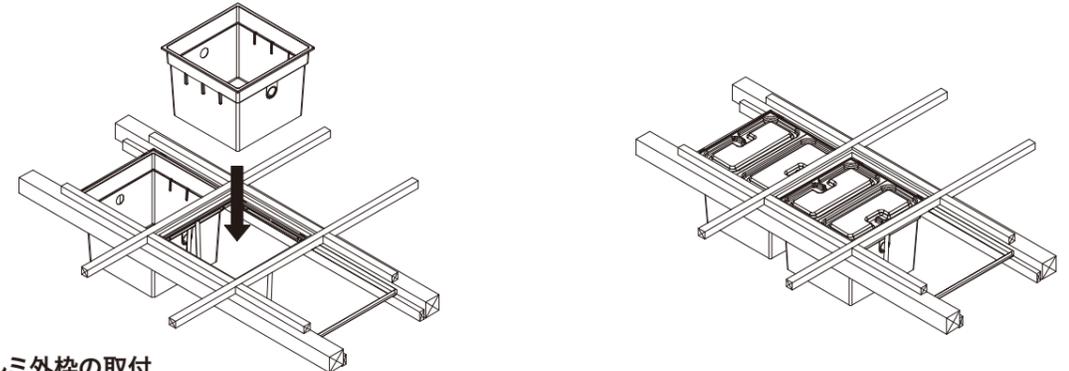
開口部の中心をガイドレール中心に合わせ、606角で開口部周囲に根太をまわしてください。



施工方法

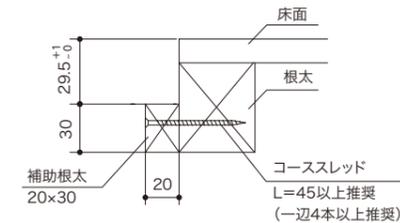
5 本体および中ふた、付属品の設置

- ① 本体を2台、開口部より入れて、スライド枠にのせてください。 ② 付属品(皿カゴ・仕切板・網カゴ)を本体にセットし、中ふたをセットしてください。



6 アルミ外枠の取付

- ① アルミ枠取り付け用の補助根太(現地調達)を床面から29.5 \pm 0.5 mmの位置に取り付けます。

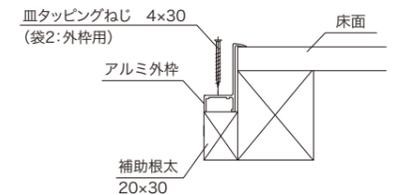


- ② アルミ外枠を開口部にはめ込み、付属のねじで補助根太に固定します。

⚠ 注意

❗ お願い

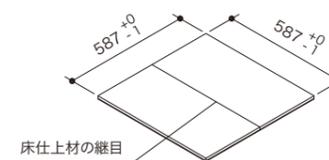
外枠用ねじを締めすぎないでください。
アルミ外枠が破損するおそれがあります。



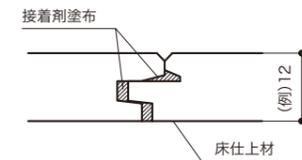
7 ふたの組み立て

- ① 床仕上材(別途)をカットします。ふた板の厚みが合計14.5mm以上になるよう、床仕上材に厚み調整板(別途)を接着して厚みを確保してください。接着剤は接着面全面に塗布して、十分な強度を保つようにしてください。

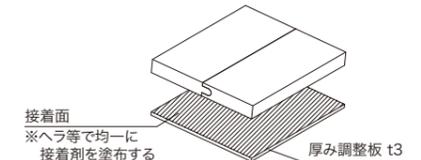
床仕上材(フローリング等)のカット



サネ部の接着



厚み調整板(合板等)の貼り付け



⚠ 注意

❗ お願い

フローリングのサネ部及びふた板と調整板の接着は確実に行ってください。
接着不良の場合、音鳴りの原因となります。

必ずふた板の厚みを調整してください。調整が不十分な場合、製品不良の原因になります。

- ② ①のふた板に回転取手用の穴加工を行ってください。

